学校だより　熱　砂

＜発　行＞
令和４年１月 10 日
発行責任者：
校長　和田　政男

皆様，明けましておめでとうございます。

1/10（月），新たな編入生４名を迎え，その後３学期始業式を行い，３学期をスタートいたしました。

２学期には，やっと集会が出来るようになり，観客を入れることは出来ませんでしたが熱砂祭も行いました。校外学習も出来るようになりましたので，デイキャンプや砂漠キャンプ，博物館の見学等も行い，充実した学習が展開できるようになりました。

しかし，12 月の終わりごろから UAE におけるコロナ感染者が急増し，再び集会が出来なくなりました。２学期終業式も３学期始業式もオンラインで行わざるを得ませんでした。

３学期始業式では，校長の話として「新年の初めにあたり，目標を持つこと。将来，自分はどんな人間になりたいか。そのために，この一年をどんな年にすればよいか。そのためには，この学期で何を頑張るか。そんなふうに，遠い目標と近くの目標，そして，今頑張るべきこと。と考えて行くことの大切さ」を話しました。８週間という短い学期ですが，１年間の成果を確認する学期，新年度の課題を確認する学期として，充実した学期になることを期待しています。

← オンラインでの始業式

コロナ感染対策プロトコルの変更について

冬休み中に，KHDA（ドバイ教育局）より，以下の内容の指示メールが届いております。

- ○　集会の禁止
- ○　校外学習の禁止
- ○　課外活動の禁止
- ○　体育の授業の禁止

これは 1/3～1/16 の２週間という期限になっておりますが，期限の延長や新たなプロトコルの変更も十分に考えられます。

このような状況や運動会練習もままならないなかで，今月末に予定されている運動会の開催が危ぶまれるところです。２学期の終わりには，「今年度の運動会は観客を入れて開催」とアナウンスしたばかりですが，運動会が実施できたとしても「観客を入れずに開催」とする判断を致しました。

また，「体育の授業の禁止」が来週も継続するようであれば，運動会そのものの中止も考慮しなければなりません。これについては KHDA からの指示を待ちながら，実施，中止，延期，内容を変えて実施等，可能な選択肢の中から，今週中に判断いたします。

本件，別に学校から出ているお便りも併せてお読みください。

今一度，家族を含めて感染防止対策の確認を

12 月中旬までは一日 100 人以下だった新規コロナ感染者が，月末には 2,000 人台になり現在も 3,000 人台で推移しております。多くの学校では全面オンライン授業に切り替えているという情報もあります。

本校では冬休み中に２名の陽性者が発生し，家族の感染に伴う濃厚接触者として登校を控えている生徒も数名居り，心配される状況が続いております。

引き続き，家族ぐるみで安全に配慮した生活をしていただくようお願いいたします。

コロナ関連のオンライン授業について

KHDA からの最新の指示メールによれば，コロナ感染し出席停止となっている生徒でも（症状が無い場合は）オンライン授業に参加して良い旨の記述があります。これまで本校では，コロナ感染し体調が思わしくない生徒はゆっくり休ませるという意味から，コロナ陽性者に対してオンライン授業の提供をしてきませんでした。KHDA の指示メールを受け，３学期からはコロナ感染した生徒でも症状が無い場合（軽減した場合），家庭の要請に応じてオンライン授業を提供することといたします。（学級担任にご相談ください）

濃厚接触等で待機期間の生徒にも，これまで同様オンライン授業を提供いたします。

コロナ以外の理由で学校を欠席する場合はオンライン授業の提供はありませんが，たまたま同じクラスで他のクラスメイト用にオンライン授業を立ち上げている場合は，その授業にアクセスしても良いことにいたします。

その他ご不明の点がございましたら，本校教頭に遠慮なくご相談ください。